

文化財NEWS

福島県教育庁南会津教育事務所
総務社会教育課

1 南会津の誇る[国指定]天然記念物

南会津には国指定・県指定の天然記念物がたくさん存在します。後世に引き継いでいきたい“南会津の宝”を紹介していきます。～「おいでよ！南会津」より～

【駒止湿原】国指定天然記念物 S45.12.28 (南会津町・昭和村)



紅葉の駒止



ワタスゲ

駒止湿原は南会津町から昭和村にまたがる湿地帯(148ha)。植物が堆積して出来た泥炭層は国内でも有数の古さを誇る。初夏はミズバショウやワタスゲ、タテヤマリンドウを初めとする多くの花々、秋はブナの黄葉(紅葉)がすばらしい。

【塔のへつり(崩)】国指定天然記念物 S18.8.24 (下郷町)



何に見えるか想像力を働かせるのも…

長い年月をかけて自然が作り出したこの渓谷は、塔の形が立ち並ぶ断崖という意味から「塔のへつり」と名づけられました。へつりとは地元の言葉で“断崖”のことです。塔の形をした断崖まで吊り橋が架けられ、断崖内部の一部を見学することもでき、その特異な形から、1943年に国の天然記念物に指定されています。

【中山風穴地特殊植物群落】国指定天然記念物 S39.6.27 (下郷町)



吹き出す冷風は2℃

真夏でも地表温度は10℃前後、地下1mでは1℃以下と、まるで天然の冷蔵庫のよう。そのため中山風穴一帯には寒地性植物・高山植物が群生していて国の特別天然記念物に指定されています。風穴周辺には本州最大規模を誇るオオタカネバラの群生地があるのですが、実はオオタカネバラは一般的に標高1,500m以上の高山で育つ植物なのだそう。それがわずか標高500mほどの地に群生し、しかも本州最大規模という不思議さ。

【尾瀬】国指定特別天然記念物 S35.6.1（檜枝岐村）

冠雪の燧ヶ岳



「尾瀬国立公園」は、2007年に“29番目の国立公園”として指定された我が国で最も新しい国立公園です。檜枝岐村側からは、ワタスゲやニッコウキスゲが美しい大江湿原、群馬側からはミズバショウなどで知られる尾瀬ヶ原（おぜがはら）など、季節毎に様々な花が咲く高層湿原として登山客を魅了します。季節毎に風景が様変わりするところから、1年間に何度も訪れる方もいらっしゃいます。

3 [県指定]天然記念物



【南会津町】

古町の大きいちょう (S28.10.1)

樹令は800年余と推定され、樹高35m、根廻り16m、目通り11mという堂々とした姿です。福島県の天然記念物に指定されています。11月上旬、葉が黄色に染まった様は見事です。それに合わせてライトアップも行われます。



【下郷町】

八幡のけやき (H22.5.1)

1055年、後冷泉天皇の御代、八幡太郎義家が、陸奥の豪族安部氏を討伐の折、険路で難渋して、中倉村の二宮太郎兵衛宅に休憩した。二宮氏は手厚く歓待し、八幡太郎義家は大いに喜び、謝礼のしるしに庭先にケヤキを植えたといわれています。



【只見町】

比良林のサラサドウダン (S36.3.22)

比良林公園内にあるこの大木は、根まわり4mで根元より数本の大えだに分かれ、高さ3.7m、枝張りは東西におよそ8.5m、南北におよそ10mもあります。根まわりが1mをこえ、りっぱな枝張りを持つものはほとんどなく、貴重なものです。

【お詫び】文化財 News 第1号掲載「檜枝岐村県指定重要有形民俗文化財1」は「重要無形民俗文化財1」の誤りでした。申し訳ございませんでした。